

「異分野融合による方法的革新を目指した人文・社会科学研究推進事業」進捗評価結果表

研究テーマ（領域）	ニューロポリティクス （政治学と神経科学の融合による社会行動の科学的理解）	
研究総括	加藤 淳子	
所属機関・部局・職	東京大学・大学院法学政治学研究科・教授	
評価区分		
	A	研究期間の延長により、優れた進展が期待できる。
	B	一層の努力を要するが、研究期間の延長により、今後の進展が期待できる。
	C	研究期間を延長しても、十分な進展は期待できない。
評価にあたっての意見		
<p>新しい研究分野として困難な課題を進めているが、研究は着実に進展しており、成果の発信も十分に実施されている。研究体制においても若手研究者が増えつつあり、評価できる。全体的としてきわめて意欲的であり、更なる進展が期待できる。</p> <p>一方、所要経費のうち、コンピュータを毎年度購入することについては、研究計画の内容から鑑みて、妥当性及び必要性に乏しいと思われる。</p> <p>今後は、研究成果を進展させ、政治学そのものに新たな展開をもたらしていただきたい。研究を進めるにあたっては、ゲーム理論との比較をおこなうことで、より深い理解が得られると思われる。また、共同研究者や脳科学者等との協働も更に進めていただきたい。</p>		